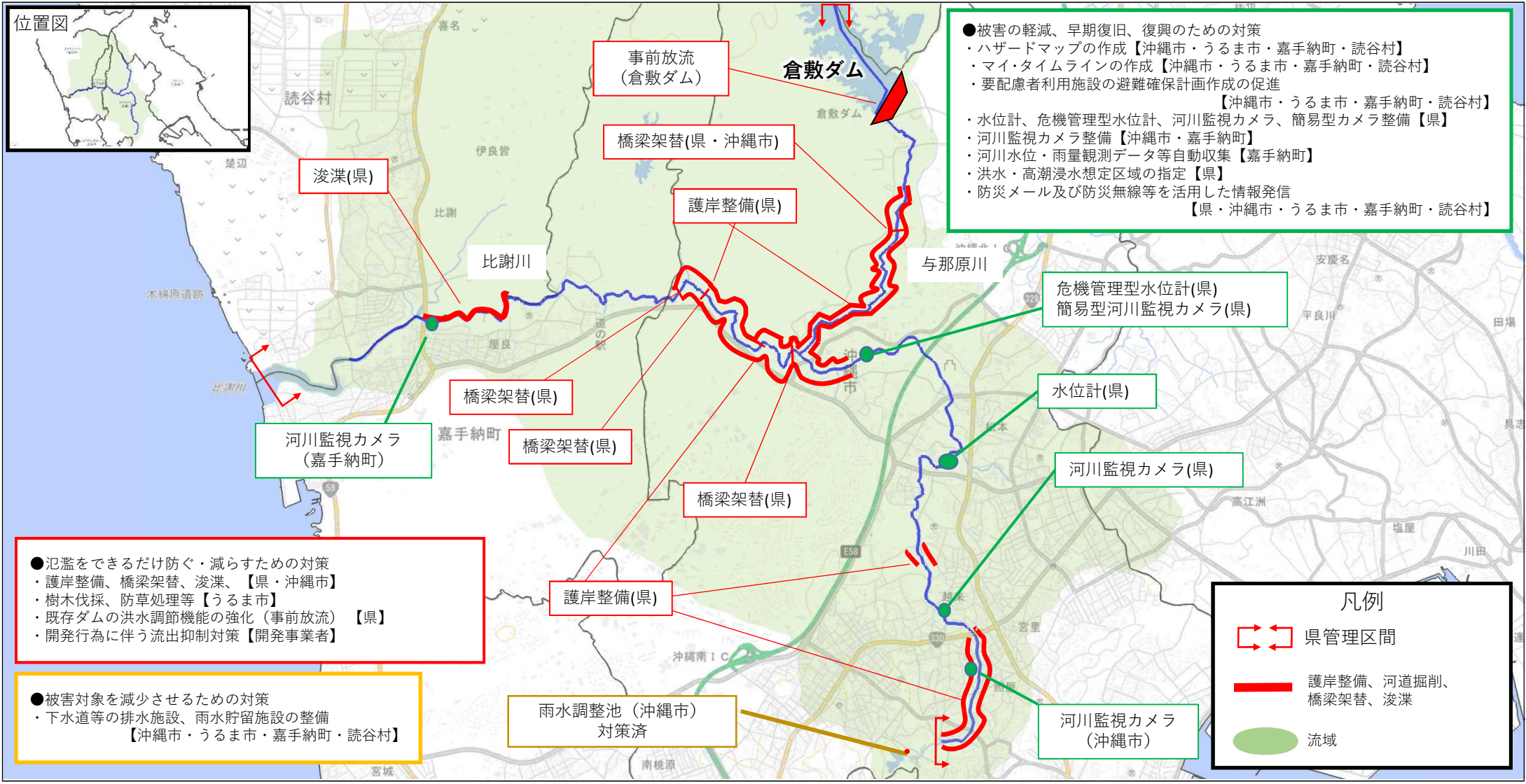


○比謝川流域は、沖縄市、嘉手納町、読谷村等の市町村にまたがっており、上中流域の大部分を沖縄本島中部の中心都市である沖縄市が占め、下流域は嘉手納町の中心地として公共施設や宅地が集中しており、平成13年9月の台風16号の出水では、国道330号上流で、床下浸水4戸、床上浸水95戸の甚大な被害が生じた。このことから、早期に上流展開が図られるよう緊急的な対策を推進する必要がある、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



- 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
  - ・ハザードマップの作成【沖縄市・うるま市・嘉手納町・読谷村】
  - ・マイ・タイムラインの作成【沖縄市・うるま市・嘉手納町・読谷村】
  - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【沖縄市・うるま市・嘉手納町・読谷村】
  - ・水位計、危機管理型水位計、河川監視カメラ、簡易型カメラ整備【県】
  - ・河川監視カメラ整備【沖縄市・嘉手納町】
  - ・河川水位・雨量観測データ等自動収集【嘉手納町】
  - ・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
  - ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・沖縄市・うるま市・嘉手納町・読谷村】

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - ・護岸整備、橋梁架替、浚渫、【県・沖縄市】
  - ・樹木伐採、防草処理等【うるま市】
  - ・既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）【県】
  - ・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

- 被害対象を減少させるための対策
  - ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備【沖縄市・うるま市・嘉手納町・読谷村】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○比謝川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

**【短期・中期】** 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。  
被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備による浸水被害軽減を図る。  
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計、簡易型カメラ設置等の整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

**【中長期】** 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。  
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>護岸整備、橋梁架替、浚渫</li> <li>樹木伐採、防草処理等</li> <li>既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）</li> </ul>	県 沖縄市・うるま市			
		開発事業者			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備</li> </ul>	沖縄市、うるま市、嘉手納町、読谷村			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理型水位計、簡易型カメラの整備</li> <li>水位計、河川監視カメラの整備</li> <li>洪水・高潮浸水想定区域の指定</li> </ul>	県			
		沖縄市、うるま市、嘉手納町、読谷村			
		県、沖縄市、うるま市、嘉手納町、読谷村			

比謝川水系  
流域治水プロジェクト

**浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ**

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等